

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 21 年 9 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

女岳東北東斜面では、先月確認された植生の枯死域及びその上部斜面の地熱の高まりに特段の変化はありません。地震活動は低調な状態で推移しています。

ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・熱活動の状況（図 2～4）

3日に岩手県の協力により岩手大学と共同で上空からの観測を実施し、また7～8日にかけて現地調査を実施しました。8月28日に確認された女岳東北東斜面の植生の枯死域の状況に特に変化はなく、赤外熱映像装置による地表面温度分布観測¹⁾でも、枯死域及びその上部斜面の地熱の高まりに変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（図 5）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

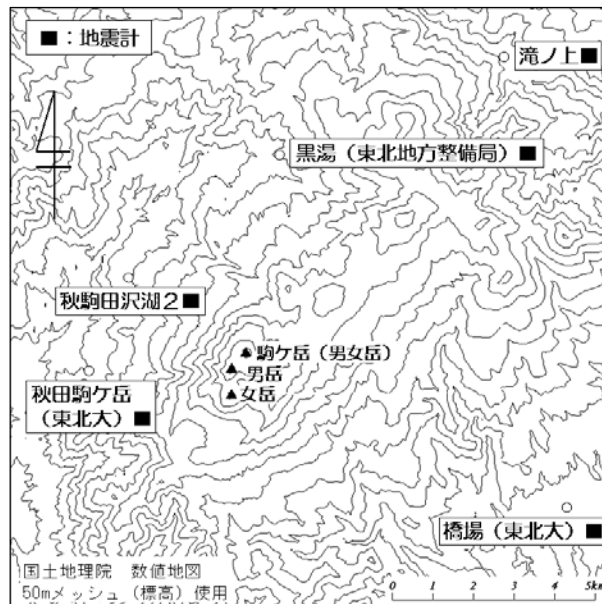


図 1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 10 月分）は平成 21 年 11 月 9 日に発表する予定です。

資料は気象庁のデータ他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

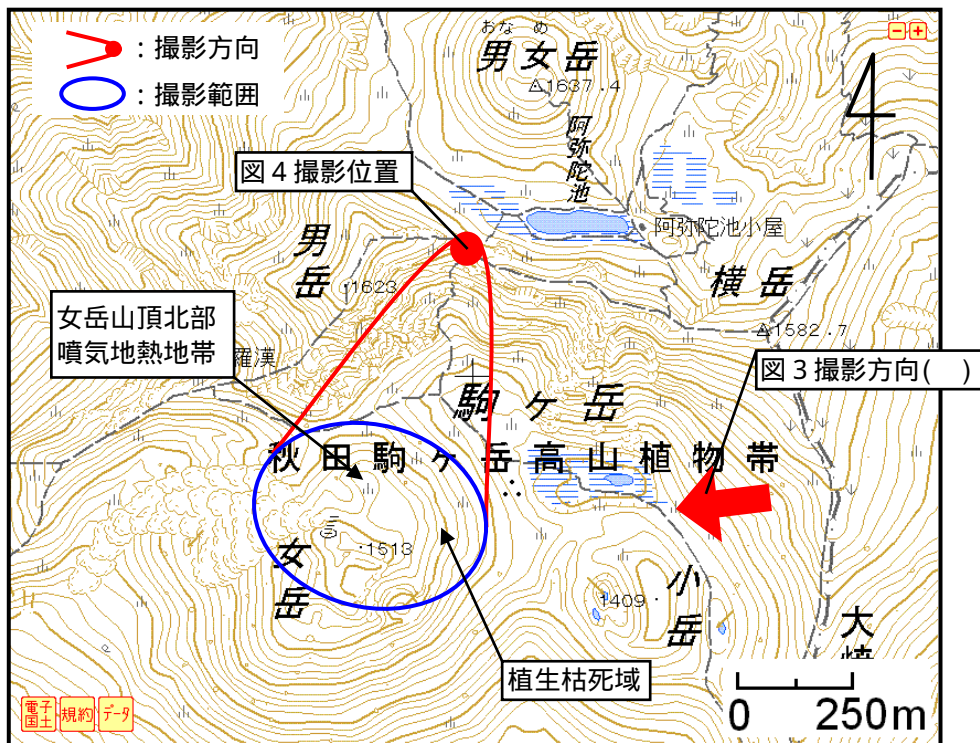


図2 秋田駒ヶ岳 地形図と地表面温度分布¹⁾観測地点

() 図3は上空から撮影されたため、図中ではおおよその撮影方向を示します。

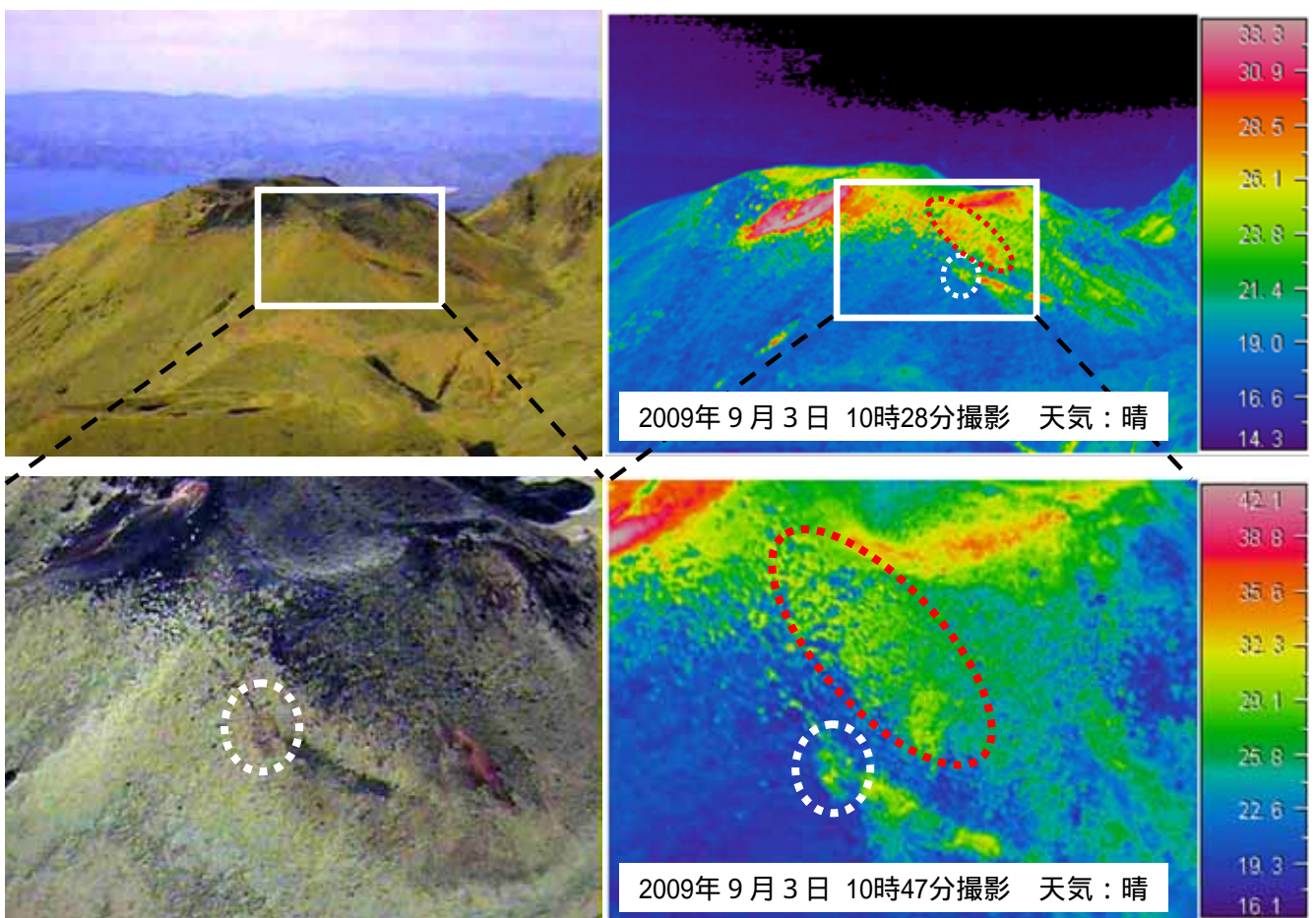


図3 秋田駒ヶ岳 女岳北東斜面の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

（2009年9月3日岩手大学と共同で、岩手県の協力により上空から撮影）

- ・上段の図の白線で囲まれた領域は、下段の図にそれぞれ対応します。
- ・破線白囲みの領域が今回確認された植生枯死域です。この上部（破線赤丸の領域）にも地表面温度の高い領域が認められます。

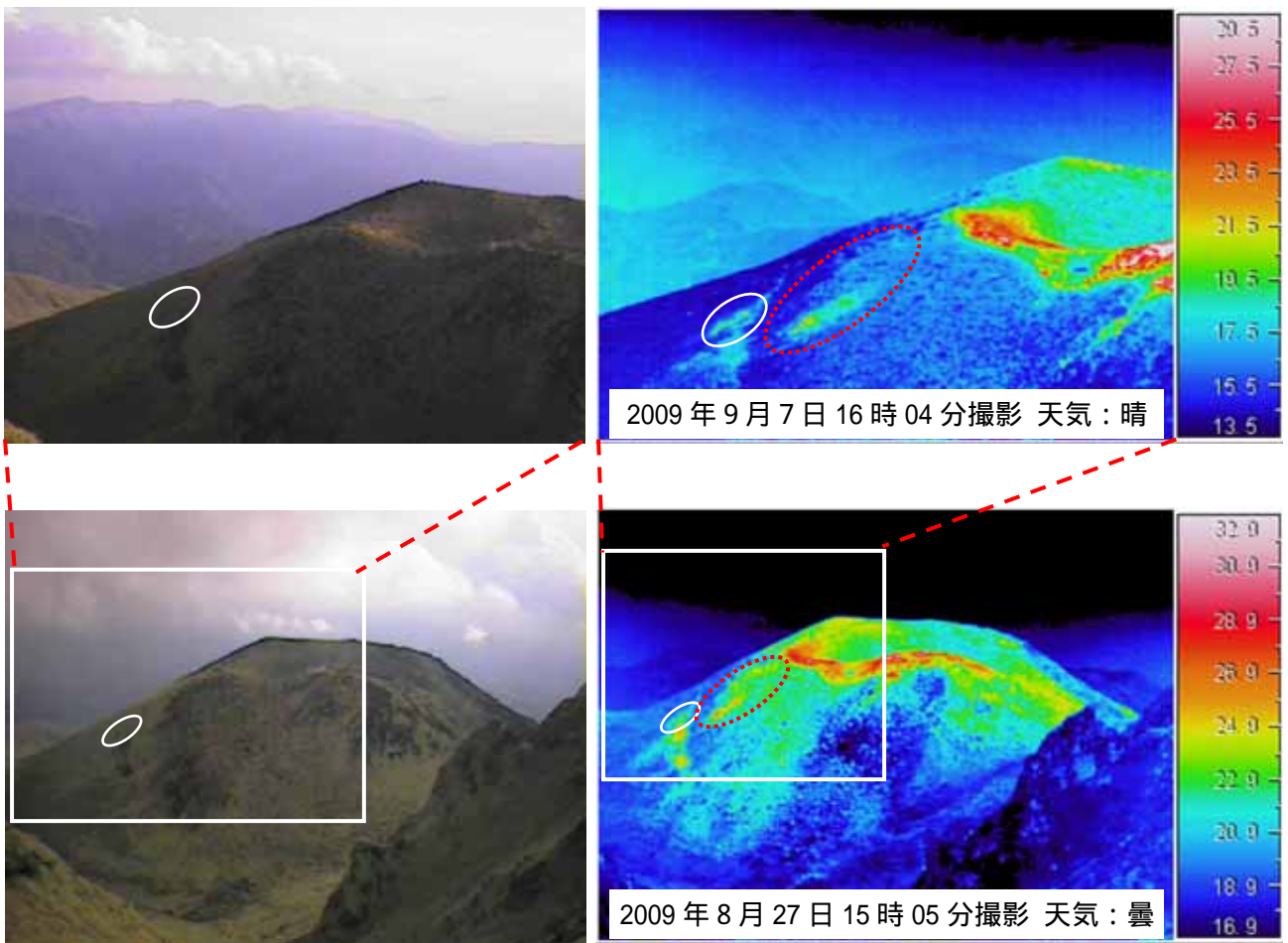


図4 秋田駒ヶ岳 女岳山頂北部と北東斜面の地熱域の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）
（上段：2009年9月7日、下段：2009年8月27日）

- ・下段（8月）の図の白線で囲まれた領域が、上段（9月）の図にそれぞれ対応します。
- ・実線白丸部分が今年8月に確認された植生枯死域です。また、植生枯死域の上部（破線赤丸）にも地熱の高まった領域が認められます。
- ・植生枯死域について、8月27日と9月7日の比較では、地熱域に広がりなどの特段の変化はみられません。

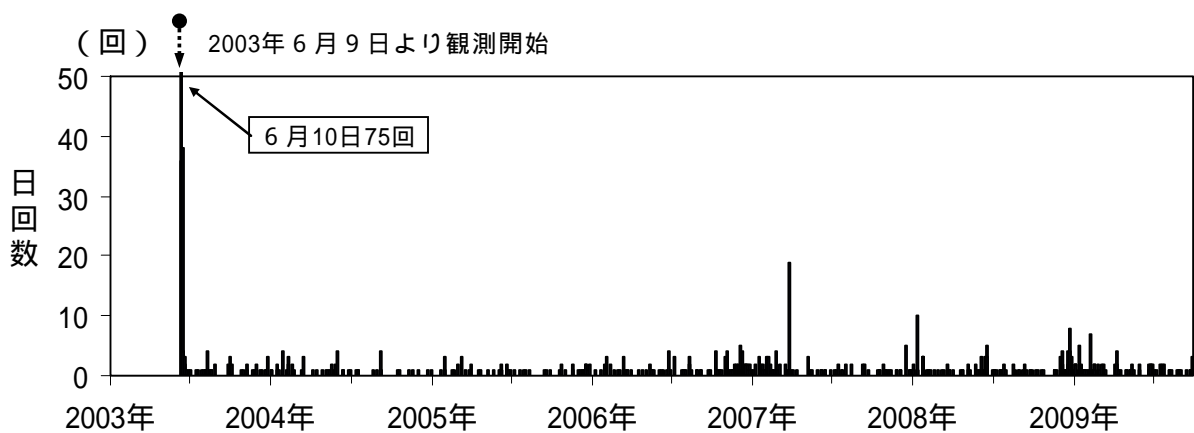


図5 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月～2009年9月）